

さくら市議会だより



2008. 5. 1
〈平成20年〉

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6177 FAX486-2508
佐倉市ホームページ http://www.city.sakura.lg.jp メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



【風車後方を彩る花火】

佐倉市民花火大会基金条例を可決

2月定例会は、2月18日から3月14日までの26日間にわたり開かれました。今定例会では、「平成20年度佐倉市一般会計予算」など議案50件、諮問1件が提出され、原案どおり可決・同意しました。

請願・陳情については「保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書採択を求める請願」など6件、議員発議については「佐倉市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について」など7件を提出し審議しました。

一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に13人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

2月定例会

福祉、教育、地域産業経済の活性化に
資する社会資本整備などに重点

平成20年度一般会計予算
378億7000万円

平成20年度予算の議決結果（議決 3月14日）

・右欄は本会議の議決結果 ◎全員賛成、○賛成多数

市長提出議案 ※丸数字は議案番号		
平成20年度佐倉市一般会計予算 予算総額は378億7000万円で前年度に比べ0.3%の増。（前年度は統一地方選挙の年につき年度当初予算が骨格予算であったため6月補正予算成立後時点の数値と比較）。歳入として市税約249億円、国庫支出金約32億円、市債約18億円などを計上。	原案可決	○
① 平成20年度佐倉市国民健康保険特別会計予算 保険給付に要する経費など154億3349万円。前年度比5.3%の増。	原案可決	○
② 平成20年度佐倉市交通災害共済事業特別会計予算 共済見舞金など298万9000円を計上。前年度比57.7%の減。	原案可決	◎
③ 平成20年度佐倉市公共用地取得事業特別会計予算 土地開発基金の利子分の繰出金471万7000円を計上。前年度比98%の減。	原案可決	◎
④ 平成20年度佐倉市下水道事業特別会計予算 下水道の維持管理及び整備、公債費など24億2195万3000円を計上。前年度比4%の減。	原案可決	○
⑤ 平成20年度佐倉市老人保健特別会計予算 医療給付に要する経費など12億1087万1000円を計上。前年度比87.4%の減。	原案可決	○
⑥ 平成20年度佐倉市農業集落排水事業特別会計予算 処理場の維持管理など2312万9000円を計上。前年度比3.9%の増。	原案可決	◎
⑦ 平成20年度佐倉市介護保険特別会計予算 介護、支援サービスの給付に要する経費など69億8786万4000円を計上。前年度比5%の増。	原案可決	○
⑧ 平成20年度佐倉市災害共済事業特別会計予算 共済見舞金など605万5000円を計上。前年度比0.3%の増。	原案可決	◎
⑨ 平成20年度佐倉市後期高齢者医療特別会計予算 千葉県後期高齢者医療広域連合への納付金など11億5209万5000円を計上。高齢者の医療の確保に関する法律に基づき平成20年度から新たに設置。	原案可決	○
⑩ 平成20年度佐倉市水道事業会計予算 収益的収入予定額37億7700万円。収益的支出予定額33億5200万円。資本的収入予定額8億2000万円。資本的支出予定額25億2200万円。	原案可決	○

予算審査特別委員会を設置

平成20年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の予算審査を行うため予算審査特別委員会を設置しました。選出した委員は次のとおりです。

予算審査特別委員会の審査模様



◎桐生政広 萩原陽子 工藤啓子 小林右治 臼井尚夫
○岡村芳樹 柏木恵子 藤崎良次 勝田治子
五十嵐智美 平野裕子 川名部実 押尾豊幸
◎委員長、○副委員長

平成20年度予算を審査

予算審査特別委員会は3日間にわたり開催され、担当部課長の説明を受け、慎重に審査を行いました。

定例会の最終日には桐生政広委員長の審査結果報告があり、次の8点を要望しました。

- ① 予算編成方針が、歳入・歳出構造にどのように反映されているか、数字の裏付けが明確となるよう努められたい。
- ② 複数部門にわたる事業については、事業ごとに施策の意義、目的、位置づけを整理し、事業執行後の評価ができるよう努められたい。
- ③ 職員の給与等については人事委員会勧告を尊重することは当然であるがそれ以外の諸手当等の支給において、市民から適正と評価されるよう努められたい。
- ④ 職員補佐員等、臨時職員の処遇改善に努め、市民サービスの低下をきたすことのないよう配慮されたい。
- ⑤ 後期高齢者医療制度の問題について、高齢者・低所得者等へ負担軽減等の配慮をされたい。
- ⑥ 志津霊園問題の一日も早い解決に全力を挙げられたい。
- ⑦ 寺崎土地区画整理事業については市民の理解と納得が得られるよう努力されたい。
- ⑧ 今後とも安価にしておいしい水の安定供給に努められたい。

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問することです。

2月定例会では、25日から28日までの4日間にわたり、一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が展開されました。その一部を掲載します。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（6月上旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム（6月配信予定）でご覧ください。

代表質問

さくら会 川名部 実

長期的財政見直しと事業の優先順位付けについて

為政者たるものは、現在だけでなく、将来の世代にも責任を負っているから、財政の将来見直しを踏まえて、何をすべきか明らかにした上で政策を選択すべきである。困窮世代が後期高齢者となる15年後は、高齢化率が30%超の超高齢社会となるが、これへの対応として何が課題なのか、市民に情報を提供すべきではないか。

高年齢化社会では福祉関係の支出が増えている。優良企業の誘致や地場産業の育成など歳入増加の工夫をしていく。財政状況などの行政情報を中長期的視点から市民に伝えていくことも重要な課題と考える。

行政改革について

①無駄を省いて新たな財源を確保する事が喫緊の課題であり仕事のやり方にまで踏み込んだ改革が必要である。市長は職員意識改革を強調するが、具体的に何をどう変えていくのか。

公明党

森野 正

条例の見直しについて 市街地調整区域における開発行為の規制緩和により予想以上の開発が行われ、開発地域と隣接する市街地地域の住民のトラブルが絶え間ない。私は、過去にも住民の安全確保、生活環境の保持を最優先にした開発行為のあり方について質問した。今議会でも上程された「佐倉市開発行為等の規制に関する条例の一部を改正する条例」の議案上程に對しての決意を伺う。

佐倉市の地理的特性や建築物の連たん要件により、宅地開発が次の開発を誘発するという状況を生み出し、市街地緑辺部の山林など自然環境が失われることが考えられる。厳しい財政事情の中、道路等の新たな公共投資を行わなければならぬことなどから、土地利用の政策的な変更をする必要があると判断した。

家庭ゴミの処理について

佐倉市廃棄物減量等推進審議会において家庭ゴミの有料化の検討がされている。市民の各家庭におけるゴミ減量の取り組みのいかんにかかわらず、単にゴミ袋の価格に処理費用の一部を上乗せし、一律に費用負担させようというのであれば、有料化に反対する。

ゴミの減量など環境に配慮されている市民が多いと認識されている。袋の大きさにより差を設けるなど、ゴミの減量やリサイクルに積極的に取り組んでいただいている市民の方々が報われ、一翼を担うものである。加入促進に向けて努力をしていく。

志津霊園関連問題

①道路開通の見直し②墓地移転に係る財政負担の総額を示されたい。 ①最短で平成27年度中と想定する。②約24億3500万円と考える。

12月議会でも取り上げられたが、住民が希望する場所まで低額で移動できる公共交通サービスである。デマンド交通システムは、過疎化している市街地周辺の医療、福祉対策、住環境の整備など全般にわたる問題解決へのアプローチになると考える。市街地周辺地域の活性化について考えを伺う。

和地区、一部根郷地区および弥富地区などの南部地域は、地域全体の居住人口減少、顕著な高齢化、生産年齢人口および生徒、児童数の減少等が共通の課題となっている。早急かつ緊急的な課題として、地域の足の確保を第一とし、あわせて農業などの産業施策、医療、福祉施策の展開を検討し推進すべきと判断している。

市民ネット

八ツ場ダム事業工期5年延長への対応と水需要予測の見直しについて 今年1月、国は工期延長の計画変更に対する同意を自治体に求めた。計画から半世紀以上経ち必要性が失われたダム建設からの撤退を判断すべきである。市は27年度完成の妥当性や今後の事業費増額等について、どのように判断し回答したのか。

事業費の増加は現在のところないと理解している。建設事業費の更なるコスト削減、市町村への早期情報提供等を付帯意見とし、計画変更に同意した。市街地調整区域における開発問題の現状と今後の方向性 問野台地区では100戸程度の宅地開発が隣接して3件申請されている。交通量増加による既存生活道路への影響は深刻だが、安全確保の具体策を伺う。新田井田と問野台の間の谷地への埋

佐倉市民オンブズマン

藤崎良次

佐倉市職員給与レベル 佐倉市職員の給与レベルは国より高くラスパイル指数は、地域手当をいれれば108.3で8.3%も高く、県内第3位である。国と比較して高いのか？

職員725人分について、仮にラスパイル指数で国と比較した場合の年間給与総額の差は、3億8千5百万円である。職員給与とゴミ処理有料化はバランスが取れていないが、給与とゴミは別の視点で検討すべきだが、適正化に努める。ゴミ処理有料化は市民の理解を得ていないか？

市はゴミ袋に1枚20円程度の処理費用上乗せをし、年間2億円程度の収入を得ようとして

新社会党

勝田治子

志津霊園問題について ①本昌寺との話し合いは膠着状態が続いた。その後の経緯と問題、交渉の基本方針を伺う。②霊園問題への税金の使われ方には市民の厳しい目がある。今後の費用はいくら位かかるのか。

①過去の協定書の取扱いや未買収地の取得に着手する予定。本昌寺や他の寺との交渉を進め

め立て土砂の安全性や大量搬入について、住民の立場に立った判断を求め、どうか。 事業者による新たな道路整備や交差点の一部改良を指導した。開発区域外の生活道路の安全対策の具体的な計画は現在ないが、関係機関等と協議しながら検討していく。土砂の搬出元や運搬経路は確定していないが、千葉県土採取条例の許可を得た採取場の土砂を埋め立てる計画で事前協議を進めている。地域住民の理解を十分得られるように安全対策をさらに指導していく。

日本共産党

児玉正直

志津霊園区間の道路開通は 市長が満を持して行った交渉によって、本昌寺住職との合意を得られたことを歓迎し、この合意は、道路開通の有効・確実な手だてなのか、決意を伺う。



早期道路開通が望まれる志津霊園

いる。佐倉市民オンブズマン連絡会は1月にこの事のアンケート調査を実施し、147通の回答（率は22%）があった。結果は「ゴミ処理有料化をすべきでないが、ゴミ処理有料化を明言しているが、有料化は市長のマニフェストに入っていたのか？」 マニフェストには入っていないが、財政基盤の充実の観点から進める。有料化は、今後の状況を見極め総合的に判断する。 市職員共済会への補助金 共済会には積立金が6千万円ある。かなりの部分が市補助金である。水道企業への補助金は違法だがどうするのか？ 積立金は適切である。水道企業への補助は検討する。

の中で土地収用も視野に入れることが必要であると判断し、土地収用の申請経費の範囲内という債務負担行為を今議会に提案した。市主導による交渉を毅然として進め道路開通に努める。過去の霊園問題の反省点として、適正な権利者との交渉や契約締結がなされなかったことがある。寺院の代表役員と各墓地使用者である権利者と交渉を重ね佐倉市の意向を理解していただく。 ②本昌寺の移転事業費に約13億円、又、建設基本計画で4カ寺関係費1億8千万円と道路建設費1億5千万円を見込んでいます。 子育て支援策について 病児・病後児保育の制度拡充策として保育所の職員配置等を国が支援する新たな取り組みがなされている。市は実現に向けてどう進めているのか。

既存の保育園では、病児・病後児保育を実施する部屋を確保することができない状況にある。現在、他市の取り組みについての調査が終了したので、医師会と調整し、今後、病院等での実施に向けて検討していく。

用語解説

【デマンド交通システム】 住民の方が希望する場所から場所までの移動を低額で提供する新しい公共交通サービス。 高齢者や子供等のいわゆる交通弱者と呼ばれる方々に対する生活交通の確保・充実策として、あるいは従来の生活交通に関する財政支出の効率化策として貢献している。